

府内幼稚園・保育所・認定こども園等に  
勤務する教員・保育士向け

# 大阪府主催 令和8年度 幼児期の環境教育研修会 (全2回)

年々、暑くなる夏。増える自然災害。

子どもたちが生きる未来はいったいどうなるのか、心配になりませんか。

環境教育とは、未来の社会をどう創るかを考え、それを教育に落とし込んでいくことです。

「環境教育って何？環境を通して行う保育と同じ？自然体験とは違うの？」

「幼児対象に何ができるの？そもそも幼児に環境教育が必要？」

こうした疑問に答えながら、日々の保育で取り組める具体的な実践のあり方を考えます。

第1回

令和8年7月24日(金) 10時00分～16時45分

梅田スカイビルタワーウエスト22階 F会議室 (大阪市北区大淀中1-1-88)

先着60名  
参加無料

第2回

■北部会場

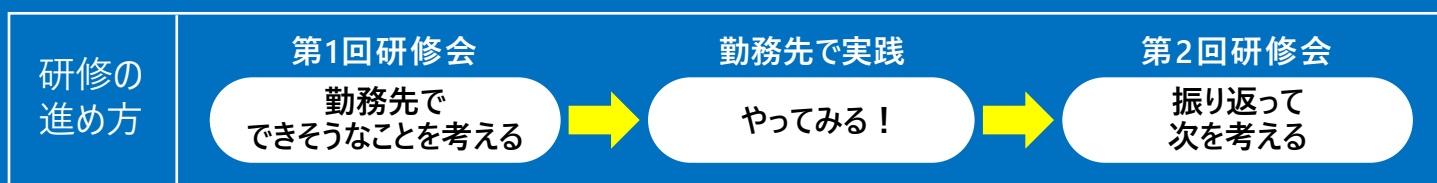
令和8年12月16日(水曜日) 10時00分～16時00分 大阪市立九条幼稚園 (大阪市西区九条2-19-18)

■南部会場

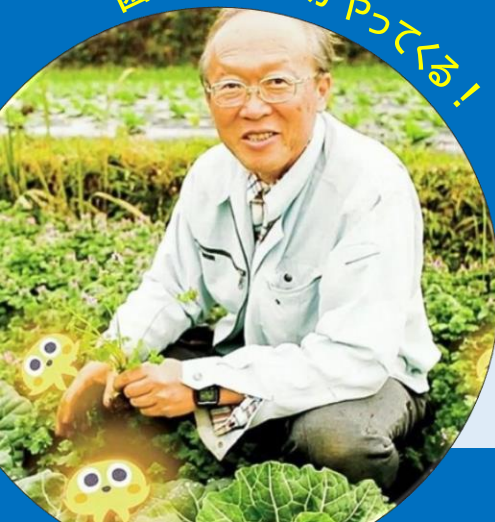
令和8年1月7日(木曜日) 10時00分～16時00分 堺市立みはら大地幼稚園 (堺市美原区菅生587)

※第2回研修会については、参加園をいずれかから選択いただけます。ただし、応募状況によっては、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。  
※本研修会は第1回で学んだ内容から、各自が勤務先で実践できることを考え、実践を試行する期間を経て、第2回の研修につながります。  
そのため、全2回の研修会に参加いただける方のみ、ご応募ください。

申込〆切：7月17日(金)



菌ちゃん先生がやってくる！



## 特別講演

### 土づくりを通じて育む子どもの「循環」の心

よし だ とし みち  
**吉田 俊道 氏**

身近なもの(生ごみ、落ち葉、刈った草など)のできる土づくり実演も行います

(株)菌ちゃんふぁーむ代表取締役・NPO法人大地といのちの会理事長・農学修士。1959年長崎市生まれ。九州大学農学部大学院修士課程修了後、長崎県の農業改良普及員に。1996年、県庁を辞め、有機農家として新規参入。試行錯誤を経て技術が確立し、全国に菌ちゃん野菜作りと元気人間づくりを普及。講演回数は3,300回を超えた。2007年、大地といのちの会が総務大臣表彰(地域振興部門)を受賞。2009年、食育推進ボランティア表彰(内閣府特命担当大臣表彰)。長崎県環境アドバイザー。

# 第1回研修会プログラム

	プログラム	プログラムの狙い
10時00分	<b>環境の今、そして、未来</b> 大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 課長 田村 友宣	私たちの暮らしている環境がどのように変化してきているのか、子どもたちが暮らす未来にはどうなっていくと予想されているのかを確認します。
10時25分	<b>幼児期の環境教育の重要性</b> 大阪市立瓜破北幼稚園 前園長 加藤 美和子	なぜ幼児期から環境教育が必要か、幼児期の環境教育で意識したいポイントや、子どもが日々遊ぶ環境でどのような取組ができるのかを学びます。
10時45分	<b>環境教育を実践する園の取組事例紹介①</b> 登美丘西こども園 顧問 大仲 美智子	保育環境・保育方法・保育者研修など、2010年から環境教育の実践研究を継続している園から、幼児期の環境教育実践の具体例を学びます。
11時00分	<b>環境教育を実践する園の取組事例紹介②</b> トレジャーキッズそめのい園 園長 増田 美由紀	昨年度、本研修会の受講をきっかけに実践したパットボトルを活用した腐葉土づくりや、保護者向けの研修会などについて紹介します。気軽にできる環境教育の具体的実践例を学びます。
11時25分	<b>新・里山の見学・解説</b> 大阪梅田中心部の一角にある「新梅田シティ」の北側約8,000平方メートルの公開空地に、日本の原風景である「里山」を手本とし、積水ハウス「5本の樹」計画に基づいた選定種を中心に、植栽を行った憩いの空間。いのちのつながりを実現し、さまざまな生き物が集まる里山を見学します。	 
<b>休憩（1時間）</b>		
13時00分	<b>特別講演：土づくりを通じて育む子どもの「循環」の心</b> 株式会社菌ちゃんふあーむ 代表取締役 NPO大地といのちの会 理事長 吉田 俊道 自然体験を生活体験につなげる具体的取組として、子どもと一緒に簡単にできる土づくり、野菜づくりについての講演・実演を行います。「循環」「共生」を意識し、環境配慮ができる子どものやさしい心を育みます。	
15時30分	<b>職員間の共通理解醸成の事例紹介</b> 富田林市教育委員会 教育指導室 指導主事 錦織 誠子 富田林市立富田林幼稚園 園長代理 飯國 佳代子	富田林市立の幼稚園では、普段の保育や生活発表会でのピオトープの活用や、里山遠足している園も多々あります。こうした活動での学びを環境教育に活かすための職員間の情報共有や取組の実践事例を紹介します。
15時45分	<b>グループワーク</b>	上記の学びをふまえ、他の参加者や講師と話し合いながら、それぞれの勤務する園で実現可能な環境教育の取組を考え、第2回研修会までに取り組める内容を検討します。
<b>16時45分 終了（予定）</b>		

## 参加にあたっての 注意事項

- ・ 筆記用具をご持参ください。
- ・ 動きやすい服装でご参加ください。一部、屋外での研修プログラムがあるため、熱中症対策として、帽子や日傘の持参、十分な水分補給を心がけてください。
- ・ 昼食や飲み物はご持参ください。昼食は会議室内でもとることができます。

## 申込みについて 7/17 〆切

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeTSQ5GfEMEKqAfNitTnq52D3gBYM9bVYiqdp5oXHhBoNpu6A/viewform?usp=header> もしくは右記QRコードのフォームからお申込みください。

上記にアクセスできない方は、  
①お名前(ふりがな) ②勤務先・所属 ③園の所在市町村 ④第2回研修会のご希望(北部or南部)  
⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦配慮が必要な事項をご記入のうえ、以下申込先のメール宛てにお申込みください。  
<受託事業者> bioa (ピオア) 担当: 瀬口 メール: [bioa.kankyoku@gmail.com](mailto:bioa.kankyoku@gmail.com) 電話: 090-7341-0078  
参加者へは、研修会の3日前までに詳細をご連絡します。



【主催】



【協力】



【問合せ】

大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課  
<電話> 06-6210-9288  
<メール> [eneseisaku-02@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:eneseisaku-02@gbox.pref.osaka.lg.jp)